

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア


















インド

国 (地域)	格付 (※1)	債券 (※2)	為替 (対円)	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/30 (3/23との比較)	3/30 (3/23との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	2.09% (▲0.10)	82.40円 (+1.45%)	+2.9% 2017年4Q	1.25%	1月のGDP (国内総生産) は市場予想を下回り、利上げ可能性がやや後退。NAFTA (北米自由貿易協定) 再交渉で、進展の可能性があるとの期待や堅調な原油価格を受けて、カナダドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIや失業率などの発表を予定。NAFTA再交渉や米国の政策に引き続き注意が必要も、IMM通貨先物ポジションが2017年以来となる売り持ちとなったことなどで、カナダドルは上値の重い展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.28% (▲0.10)	32.15円 (+1.68%)	+2.1% 2017年4Q	6.50%	公表された四半期インフレ報告では、インフレ率とGDPの見通しを据え置き。中銀は議事録を公表し、次回会合で利下げを打ち止めするのが適当との意見が出された。レアルは対円で上昇。国債利回りは低下。	鉱工業生産や製造業PMIなどの発表を予定。ブラジル景気は回復を続けているものの、ペースは緩やかに減少傾向。景気回復ペースが弱いままであれば中銀の追加利下げ観測が上昇し、レアルの上値は重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.22% (▲0.17)	5.85円 (+3.39%)	+1.5% 2017年4Q	7.50%	小売売上高や貿易収支は市場予想を上回る結果。良好な経済指標や、NAFTA再交渉で米国が一段と建設的な姿勢を示す可能性があるとの期待から、ペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIや消費者信頼感指数などの発表を予定。選挙戦が本格化し始める中、債券・為替市場は神経質な展開を想定。引き続き、NAFTA再交渉にも注意が必要。
	A3	 金利上昇		 景気安定	 利上げ局面		

(出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成)

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示 (カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年)。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高 (円安) を上向き、現地通貨安 (円高) を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。
















※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/30 （3/23との比較） 今後の見通し （※4）	3/30 （3/23との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.60% （▲0.05）	81.61円 （+1.23%）	+2.4% 2017年4Q	1.50%	民間部門信用は前年比で市場予想通りの結果。求人情報は前回値を上回る結果。北朝鮮が日朝首脳会談の開催を模索しているとの報道から、リスクオンムードが強まり、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	政策金利などの発表を予定し、市場では据え置きを予想。米国の保護主義的な通商政策を受けて、鉄鉱石価格が急落していることや、中国経済の先行き不透明感が強まっていることなどから、豪ドルの上値は重い展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利上げ局面		
ニュージーランド 	AA+	2.72% （▲0.04）	76.91円 （+1.53%）	+2.9% 2017年4Q	1.75%	中銀は新たな政策目標協定に、雇用最大化を追加することで政府と合意したと発表。インフレ率を中期的に1-3%に維持するとの従来の目標は維持。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	住宅価格や消費者信頼感指数などの発表を予定し、目立った改善がみられるかが注目。中銀が政策目標を追加したものの、インフレ率が低位で安定しているため、当面緩和的な金融政策を続けるとの従来の見方に変化はなし。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.85% （▲0.04）	13.57円 （+0.45%）	+1.4% 2017年4Q	0.50%	原油価格が高水準で推移したものの、小売売上高は市場予想に反して3カ月連続の減少。軟調な経済指標を反映して、国債利回りは低下。ノルウェークローネは対円で上昇。	製造業PMIなどの発表を予定。先週発表の小売売上高の弱さを受け、ノルウェーが景気回復を続けるとの見方が揺らぐ兆し。単月での変動の大きい経済指標のため、来月発表分に注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/30 （3/23との比較）	3/30 （3/23との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.36% （+0.02）	8.98円 （+0.56%）	+1.5% 2017年4Q	6.75%	貿易収支は市場予想を下回る結果。中銀は4対3の僅差で政策金利の引き下げを決定。声明でインフレ率は少なくとも20年第四四半期まで目標レンジ内で収まるとの見方を表明。ランドは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	製造業PMIなどの発表を予定。経済指標に改善はみられるものの、目先の材料に乏しく、米中の貿易戦争への懸念も残ることなどから上値の重い展開を想定。引き続き、補償なしの土地接収、鉱業憲章などの課題にも注目。
	Baa3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	5.94% （▲0.12）	0.77円 （+1.74%）	+5.2% 2017年4Q	4.25%	主な経済指標の発表はなし。27日の国債入札が強めの結果となったことや、海外投資家の債券売買フローの純流入が続いたことなどを背景に、国債利回りは低下。ルピアは対円で上昇。	外貨準備高や製造業PMI、CPIなどの発表を予定。CPIが中銀の目標レンジ内で推移すれば、国債利回りは低下し、ルピアは底堅く推移する見込み。
	Baa3	 金利低下		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	7.40% （▲0.09）	1.63円 （+1.22%）	+7.2% 2017年4Q	6.00%	主な経済指標の発表はなし。インド気象庁によると今年のモンスーンの雨量は平年並みとなる見通し。2018年度の政府借入予定額が予想外に縮小したことを受け、国債利回りは低下。ルピーは対円で上昇。	製造業PMIなどのほか、政策金利の発表を予定し、市場では据え置きを予想。原油価格は米国の政治が意識されるものの、国内は景気が持ち直しているほか、中銀のタカ派的な姿勢も意識され、ルピーは底堅い展開を想定。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

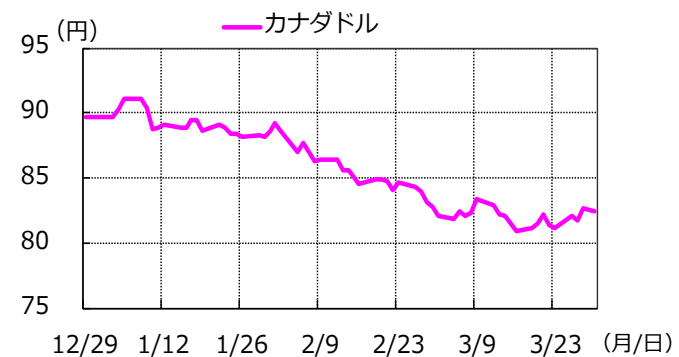
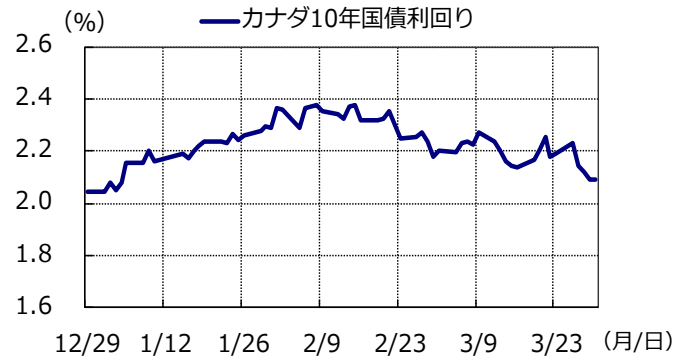
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

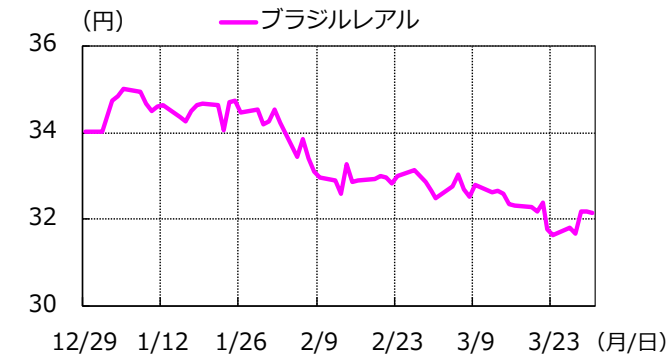
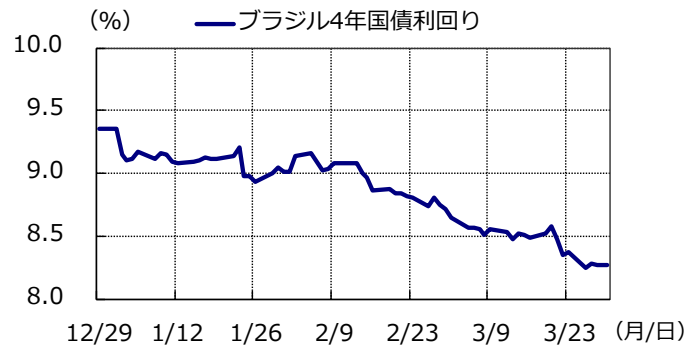
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/29～2018/3/30

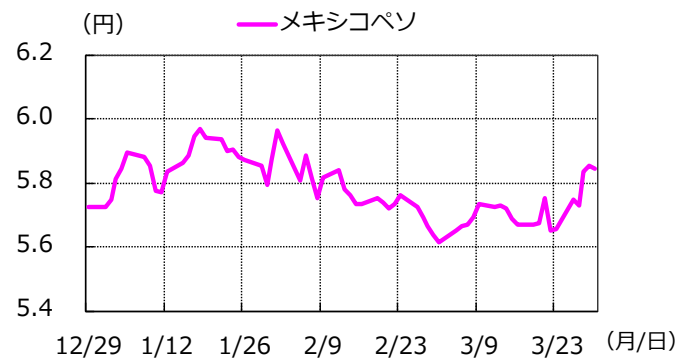
カナダ



ブラジル



メキシコ

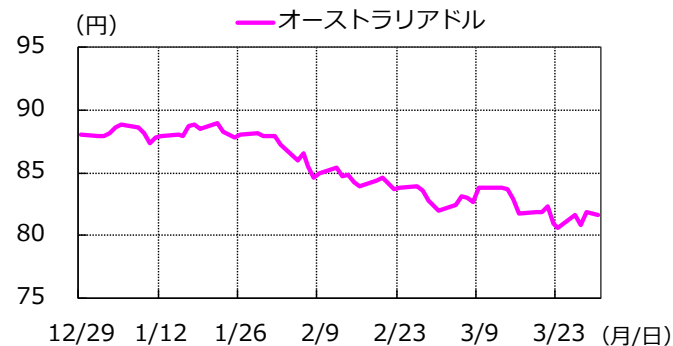
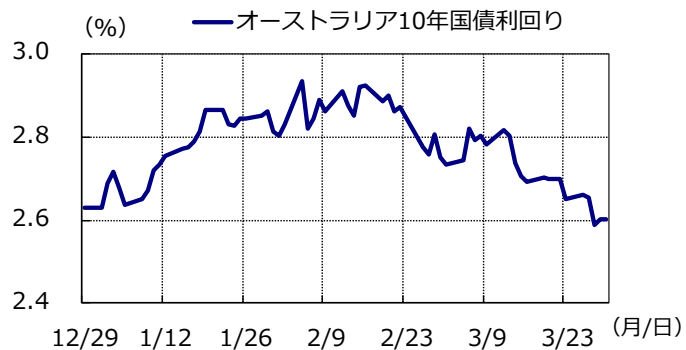


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

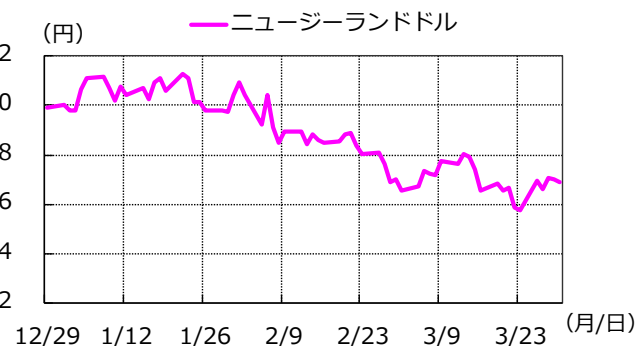
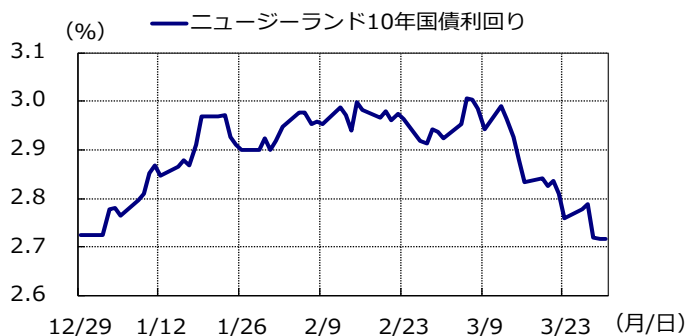
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/29～2018/3/30

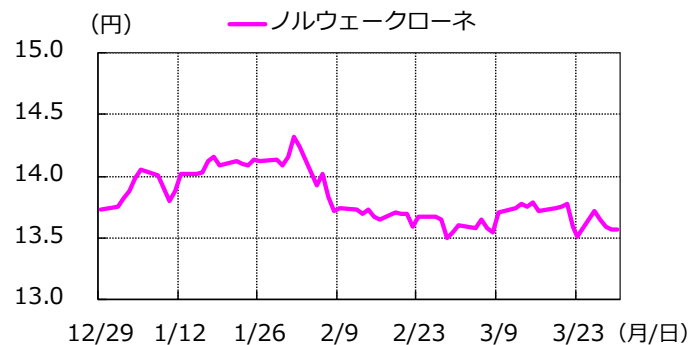
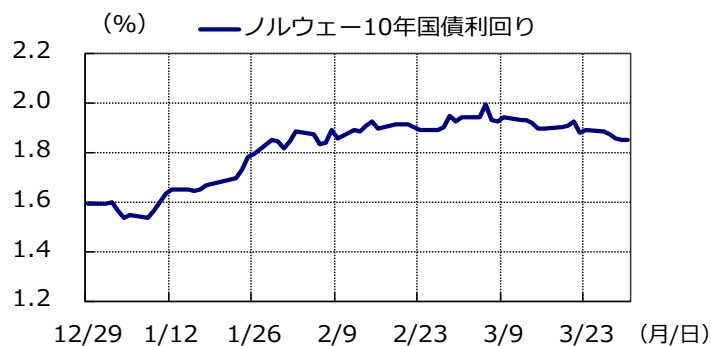
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

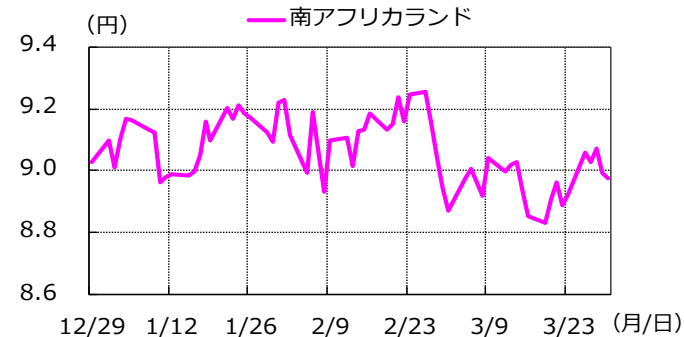


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

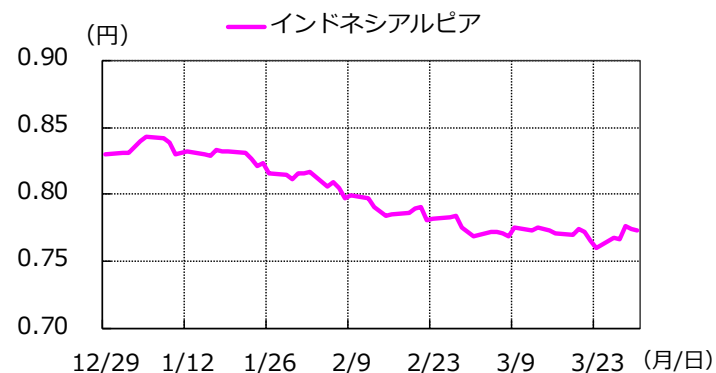
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2017/12/29～2018/3/30

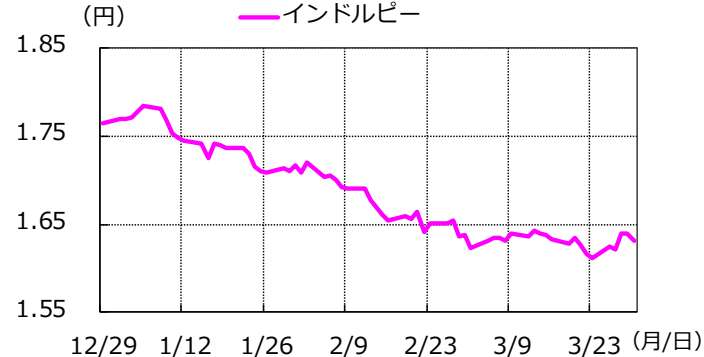
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。